

APU インクルーシブリーダーシップセンターの「COVID-19 AND BEYOND : インクルーシブな職場と社会に向けて」ウェビナーシリーズの第2セッションによろこそ。今回は再び Lailani Alcantara センター長の司会にて、HAVI サプライチェーン・ソリューションズ・ジャパン合同会社 CEO 兼社長の、中村真紀氏を紹介します。

もともとそんなに典型的な日本女子ではなかったという中村氏。そんな彼女が男性優位の業界で女性 CEO という地位にいたるまでの経験を語るなかで、「ダイバーシティとインクルージョン（以降 D&I）」が常に彼女の人生テーマであると言います。

中村氏は講演「厳しい時が好機をもたらす」のなかで、コロナ危機が意外にも自社の D&I 進展に良い影響を与えたことを語りました。在宅勤務やフレックスタイム等、以前には受け入れられなかった取り組みの導入は、パンデミック発生後に急速に加速されました。このような成功事例をもたらしつつも、事前の適切な準備無しには不可能だったと彼女は強調しました。

このコロナ危機の中で学んだ教訓を生かし、中村氏は社員にどのようにモチベーションを刺激して欲しいと思っているか、また仕事のパフォーマンスと成果の再定義をしつつ、職場での D&I を更なる促進のために実行したいと思っていることについて共有しました。

中村氏は、「常に備えておくこと、モチベーションを維持すること、そして挑戦をすることを恐れなください。厳しい時でさえ必ず好機をもたらしてくれるから。」という励ましで講演を締めくくりました。